

## 市民意見募集(パブリックコメント)結果

「第5次和歌山市長期総合計画基本計画(素案)」に関するご意見を募集した結果、4件のご意見をいただきました。

### ■募集案件の概要

募集案件	第5次和歌山市長期総合計画基本計画(素案)
受付期間	平成28年11月21日～平成28年12月20日
ご意見の件数	3人・4件

### ■ご意見の概要

No	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>住民の健康寿命を延ばし、重症化予防、要介護の減少のため、また、子ども・妊産婦・アレルギーなど感受性の高い方を含めた非喫煙者を受動喫煙の危害から守るために、健康の基本として、この課題の重点施策をお願いしたい。</p> <p>(1)タバコ(喫煙及び受動喫煙)は、早期死亡、健康寿命の短縮、要介護の増加など、健康破壊に第一の要因になっているとのエビデンスが蓄積していることから、活用可能なあらゆる機会を通してその周知・対策徹底を図ってほしい。</p> <p>(2)タバコ(特に受動喫煙)の危害防止について、公共性の高い施設において、子ども・妊産婦を守ることを最優先に全面禁煙ルールを確立して、順次広げていくことや、幼稚園や小中学校などの保護者への禁煙促進の働きかけや啓発・講習等を行ってほしい。</p> <p>(3)子ども・青少年の喫煙防止とともに、親や妊産婦・家族が喫煙している場合は、禁煙を促す抜本的施策などを実施してほしい。</p> <p>(4)禁煙サポートの推進で、特定健診やがん検診等は40歳以上となっているなど、より若い20歳前～30歳代・未成年者への禁煙サポートに重点を置いたやり方で実施してほしい。</p> <p>(5)男女共同参画、特に女性の健康づくりの推進に関連して、禁煙と受動喫煙の危害防止は「生涯を通じた女性の健康づくり」にとっても必要と考えている。</p> <p>(6)歯周病だけでなく、口内炎や舌がん、食道がんなども喫煙・受動喫煙と因果関係が多々あることから、これらを強調した啓発と対策を実施するべきである。喫煙・受動喫煙の危害対策は、中長期的にもタバコを吸うことのできない社会環境づくりとして、男女の喫煙率を低減させていく上で極めて有効で、住民の健康支援となり、健康寿命の延伸に大きく寄与すると考えている。</p>	<p>「4-7-1 健康づくりの推進」の取組方針1において、たばこの害に関する正しい知識の普及啓発により市民の主体的な健康づくりを促進すると記載しています。</p> <p>今後、計画を実行するに当たり、具体的な事業化の中で検討してまいります。</p>

2	<p>昭和60年が人口のピークとのことだが、最近でもイベントがあれば、市街地にはたくさんの方が集っている。</p> <p>それに対して、主催者側の対応が追いついていないのではないかと感じる事が多く、せっかく参加しても目的が達成できずにガッカリしたり、残念ながら過大広告的印象を受けることもある。</p> <p>市街地活性化を謳っている以上は、そういうイベント等の助成や協力等を強化していただきたい。</p>	<p>第5次和歌山市長期総合計画において、人口減少の克服は最も大きな課題であると考えており、基本計画の総論第4章では、全分野の中で、特に人口減少対策につながる主な施策を幾つか挙げています。その中で、中心市街地における都市機能の充実や賑わいの創出に取り組むとしているとともに、「2-1-1 中心市街地の魅力向上」の取組方針2において民間が開催するイベントの支援や、民間と連携した誘客性の高いイベント等を開催し、賑わいの創出につなげるとしており、今後、計画を実行するに当たり、取り組んでまいります。</p>
3	<p>(1) 現在、知らない都道府県の45位である状況だが、まず、知っている都道府県ベスト10に入る計画をつくってほしい。</p> <p>(2) 昔はJRが和歌山市駅に乗り入れ、なんば発白浜行き急行が1日数本出ていたり、和歌山市駅発高野山行きのSL機関車が走っていた。観光SLを走らせてほしい。</p> <p>(3) 観光で和歌山を知ってもらうように、和歌山市駅～和歌山駅間で、路面電車の営業を開始してほしい。</p> <p>(4) 新和歌浦に、昔のような賑わいを取り戻してほしい。</p> <p>(5) 新市駅ビルに百貨店の出店をしてほしい。また、食事広場（20店以上）や屋上に遊園地を作ったり、ビアガーデンも開催してほしい。</p> <p>(6) 若者の遊ぶ場所がない。</p>	<p>総論第4章に記載しているとおり、シティプロモーションを積極的に展開することで、本市の魅力を外外に知ってもらうよう努めてまいります。</p> <p>「4-1-2 公共交通体系の充実」で新交通システムなど長期的観点から研究を行う旨記載しているほか、「1-4-1 観光客受入体制の整備」の取組方針2においては、公共交通等の交通機能を充実させる旨記載しており、その中で必要に応じて、検討してまいります。</p> <p>「1-4-1 観光客受入体制の整備」の取組方針4に記載しているとおり、和歌浦をテーマにした日本遺産の認定をめざすなど、地域資源を組み合わせたストーリーづくりに取り組むことでブランド力の強化を図ることにより、観光客の増加につなげるなど、賑わいの創出をめざします。</p> <p>「2-1-1 中心市街地の魅力向上」の取組方針1に記載しているとおり、中心市街地については、南海和歌山市駅前への市民図書館の移転など、県都として相応しい高次都市機能・都市基盤の再編などにより魅力を高めるほか、民間活力を活用した市街地再開発事業を進めます。</p>
4	<p>(1) 和歌浦の旅館町の一画にて物産品の販売、ガラス張りのイベントスペース、テナント等が入った観光拠点施設広場を作り、毎日営業するなど、人気訪日客宿泊ランキング1位をめざしてほしい。</p> <p>(2) 高齢者が運転免許を返納した後、交通手段がなくなるので、電車・バス・タクシーの割引ができるようにしてほしい。</p> <p>(3) 公立小中の給食を無償で提供してほしい。</p>	<p>「1-4-1 観光客受入体制の整備」の取組方針4に記載しているとおり、和歌浦をテーマにした日本遺産の認定をめざすなど、地域資源を組み合わせたストーリーづくりに取り組むことでブランド力の強化を図ることにより、観光客の増加につなげるなど、賑わいの創出をめざすこととしていますが、ご提案の観光拠点施設広場等についても、必要に応じて、多様な関係者とともに検討してまいります。</p> <p>現在でも、外出支援事業として、70歳以上の方を対象とした元気70パス事業を実施しています。</p> <p>「4-9-2 高齢者の生活の充実」に記載しているとおり、高齢者が住み慣れた地域で自立して、安心して安全に暮らすことのできるまちづくりをめざす中で、関係機関と協議してまいります。</p> <p>要保護児童、準要保護児童に対しては、既に無償化しているところですが、全児童を対象とするのは、現時点では多額の財源確保が必要という問題もあり、市単独で行うのは難しい状況です。</p>